



下京消防団総合査閲

修徳消防分団長 中村 正和

5月17日(日)朝8時より七条中学校校庭にて爽やかな天候のもと毎年恒例の下京消防団総合査閲が行われ、修徳分団は過去最多の23名での受閲となりました。

4月より連日の訓練を行いました。分団員は皆公私ともに忙しく、結局全員が揃っての手帳点検は一度もできませんでした。不安を抱えながらの本番でしたが、日頃のチームワークの良さが発揮されたのか、私の号令通りキビキビとした動きで手帳点検を受けることができました。しかし、1名の手帳の団員証の向きが逆向きに挿入されていることを点検官から指摘されました。今後このようなミスが無いようにと改めて気を引き締めました。

小型動力ポンプ操法は、指揮者平井部長、1番員山岸団員、2番員櫻田団員、3番員南辻班長で行いました。全員が操法の経験者ですが、指揮者と1番員は初めてのポジションです。

例年より多めの訓練日を設けましたが、4月は雨の日が多く思うようにならず歯がゆい思いをいたしました。本番ではミスもなく写真を見て頂ければお分かりの通り、気迫のこもった操法を披露することができたと思います。下京消防署より非番にもかかわらず連日訓練を指導して頂いた原田司令補には心より感謝し敬意を表します。

修徳消防分団総員24名は、厳しい中にも和やかに



学区民の皆様方に親しまれる消防分団でありたいと思います。



これからの修徳学区の防火防災に努め、安心安全なまちづくりを目指して頑張ってください。ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



最後になりましたが、訓練当日早朝より応援に駆けつけてくださいました皆様方には、厚く御礼申し上げます。



一昨年半ばの代行から、昨年度一年間、自治連合会長の重責を担わせていただき、各町内会長さんや各種団体長さんのご理解とご尽力のお蔭で連合会の事業とまちづくり委員会の活動を、なんとか無事に全うすることができました。

昨年度は、「学区内の身近な生活環境に視点を置きましよう」と呼びかけました。「修徳らしいまちなみ」の創造も、ワークショップや会議での話し合いが、建築の専門的な視点や建物の部材ばかりに話題が偏らないようにしてきました。お蔭で景観づくり相談会などでも、新しく自宅を建てて町内会に加入していただく家族との交流を大切にする雰囲気、醸成されてきたように思います。

「まちなみ文化財絵図」昨年度は、各町内会の景観づくり相談会で、話し合っていたときに、模範として意識していただけのように、「修徳まちなみ文化財」を15軒追加し、59軒の「修徳まちなみ文化財絵図」を下京区役所の助成金をいって、完成いたしました。学区や町の由緒も裏面に詳しく書きましたので、ぜひ、お読みいただきたいと存じます。

地震災害対策と避難所ルールの策定 自治連合会長といたしましては、防火災、防犯、交通安全、道路環境の保全、さらに、児童生徒の健全育成、福祉健康環境の整備など、各種団体が尽力していただいている活動を支えていくのは当然です。兼任のまちづくり委員長といたしましては、安全で安心して暮らせる学区の絆の強化を推進する立場から、各団体の連携を必要とするときや、絆を強くする基盤がなければ完成できないような活動には、まちづくり委員会あげて協力を惜しまないつもりであります。

空き家の活用 京都大学大学院の門内輝行先生の教室に大変なご尽力をいただいて、空き家の活用問題を推進してきております。学区

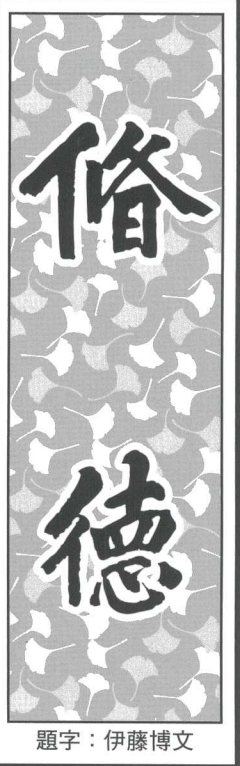
民のみなさんが、ワールドカフェなど、いろいろな形式のワークショップで、空き家の害虫害獣、建物部材の崩壊など、町の生活環境の不安要因や、それを活用する施策などの積極的な提案を、話し合っていたいただき、空き家の各地権者とのアンケートや対話も実現いたしました。今年度も、特定の空き家を対象に、学区民の絆を強める集いの場の実現を期待して、空き家の活用成功例をつくらせてまいります。

今年度の重点施策である学区の三大事業と地震対策と空き家問題に、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

すべての活動を 絆を強くする契機に

災害時の安心安全を築くために

修徳自治連合会長 兼 まちづくり委員長 福井 謙三



題字：伊藤博文

発行所 修徳自治連合会 PR・情報委員会 修徳社会福祉協議会 発行責任者 福井 謙三 編集責任者 浅野 三朗 印刷所 (有)章美プリント

毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただき、広報紙作成の一助にいたしましたります。



☆修徳ホームページ☆

修徳学区HP 検索

春のグラウンドゴルフ成績表 (4月26日元格致校にて)

団体戦		
優勝	小田原	188
2位	徳万	188
3位	※菅大臣	189

個人戦 (敬称略)		
優勝	八木 (小田原)	37
2位	山岸 (体振)	39
3位	吉川 (御供石)	41

※成徳学区からの特別参加



11月1日(日)に秋の大会を予定しています。

修徳体育振興会会長 内藤 栄紀



公益財団法人 日本漢字能力検定協会

本部 / 京都市下京区烏丸通松原下る

TEL 0120-509-315



社会福祉法人 京都福祉サービス協会

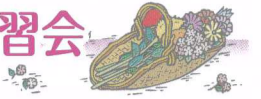
総合福祉施設

修徳

京都市下京区新町通松原下る富永町110-1

- ◆ 特別養護老人ホーム ☎ 351-2181
- ◆ ショートステイ ☎ 351-2139
- ◆ デイサービスセンター ☎ 351-2191
- ◆ 居宅介護支援事業所 ☎ 351-2152
- ◆ 地域包括支援センター ☎ 351-2153
- ◆ 児童館 ☎ 353-6399

女性会 プリザーブドフラワー講習会



今年度女性会の生活向上勉強会は、プリザーブドフラワー作りの体験をすることになりました。前もって参加希望者を募りましたところ78名ものご希望がありました。女性会役員一同、企画立案に苦勞したかいがあったと嬉しい悲鳴を上げました。会場に予定していた会議室を急きよせんだんホールに移して準備を進めてまいりました。

5月のさわやかな風が吹く20日水曜日、午後7時よりの集まりでしたが、どなたも家事を早々に切り上げて早めに集合してくださいました。講師の先生は、新町通綾小路下る、リーフガーデンの矢野ゆか先生で、助手の先生お二人も来ていただきました。机には、養生の英字新聞に一人分の鉢、花材が並べられ、わくわく感満載で早く作りたいと心が躍ります。

簡単なようにみえてなかなか難しく、同じテーブルの方々と先生のご指導を聞きながら、ああかな、こうかな、と会話もすすんで笑顔と笑い声が広がっていききました。

プリザーブドフラワーは特殊加工をした生のお花です。柔らかい手触りと美しい色彩は1~2年続きます。バラ、あじさい、カスミ草、ヘリクリサム、猫じゃらし、スケルトンリーフ、ピケリカム、そしてリボンです。ワイヤーを茎にかけて、くるくる巻いたり、



短く切ったり、生け花の経験者でも花材やオアシスに入れる活け方が全然違ってなかなか思うようにはなりません。それがまた楽しい。出来上がりの作品を人と比べてみてまたまた迷ったりもしますが、だんだんと自分の作品への愛着が生まれてきます。あつという間に一時間半がたち、みなさんご自分の作品をお持ち帰りになりました。いまごろお家の目立った場所に明るい色を放ちながら、かわいい姿であなたを応援していることでしょう。

役員は先に講習を受けていて、当日はお手伝いをさせていただきましたので、皆様の楽しそうな笑顔を沢山みせて頂きました。修徳学区の女性達がますます元気で花として輝きますよう祈念しております。またご参加くださいね。

修徳女性会 小畑 成代

修徳まちなみ文化財絵図でできる追加選定された方々を表彰

山本下京区長から櫻のプレート

修徳まちなみ文化財絵図は、5月27日(水)午後7時30分から、せんだんホールで全体会議を開催し、31名の出席をみた。

◆修徳まちなみ文化財追加選定の表彰式◆

今年度の事業計画の報告に先立って、「修徳まちなみ文化財」に新たに追加選定された15軒のお宅のみなさんの表彰式を実施した。平井常夫特別顧問から「選定証」が、山本耕治下京区長から「櫻のプレート」が手渡され、まちづくり委員会のみなさんから祝福の拍手が贈られた。江戸明治

型や大正昭和型の町家だけでなく、今回は「平成の町家」や比較的新しい家屋、ビルやマンションなども追加した。「修徳らしいまちなみ」は、規制をつくり同じ型の家を並べるのではなく、学区民の暮らしの時代的な変化に対応した「美的感覚」を活かしたものであつてほしい。

「修徳景観づくり協議会」は、まちづくり委員会の「建築分科会」の仕組みをそのまま京都市が認定してくれた。その手順として、新築増築する建物は町内会での「景観づくり相談会」の話し合

いが終わらないと、建築確認の審査には入れない。

◆まちなみ文化財絵図を活用しよう◆

このたび、「修徳まちなみ文化財絵図」を製作し、全戸に配布させていただいた。この絵図にある59軒の「まちなみ文化財」を学区のみなさんの意識のなかに、模範として位置づけていただき、修徳らしいまちなみをつくってほしい。絵図の裏には町名の起源や史跡の由来も記載した。

◆景観づくりも絆の強化に活かす◆

町内会での話し合いも、「建物の部材の良し悪し」だけに視点を置くのではなく、「子どもさんのお



まちなみ文化財表彰式

事業総括 小西 宏之

◆材木町◆

★バーベキュー大会

5月23日(土) 町内の小畑様ガレージを会場にしてバーベキュー大会を行いました。お年寄りから子供たちまで50名以上の参加がありました。大人たちはお肉とビールで談笑、子供たちは畳み敷きの即製キッズランドで遊びに夢中になっていました。

たいへん賑やかで楽しい一日を過ごすことが出来たのも、椅子、机、テントをお借りしました自治連合会様のお蔭と感謝しております。

材木町会長 三田 純一



◆月見町◆

★世界遺産平等院鳳凰堂レクリエーション

5月24日(日) 恒例の月見町レクリエーションを行いました。棚田智行会長以下25名で、昼食のお世話になる宇治川さんの送迎バスで、一路平等院へ向かいました。

まず世界遺産の平等院鳳凰堂を拝観。色濃くなつた新緑をバックに、美しく蘇り、堂々とした見事な姿を目にしました。

次は併設の鳳翔館へ。立派な鳳凰や梵鐘、優しいお顔の阿弥陀様や菩薩様に心が安らぎ、他のどの展示も素晴らしく感動いたしました。

その後、美味しい昼食を頂きお腹も満たされた



後、平等院表参道で散策や買い物を楽しみました。

お天気にも恵まれ、町内の皆様と有意義な一日を過ごすことができましたと思います。

PR情報委員 安田 直人

川柳

ひとときのうた

好奇心がときどき勇み足とする
花だよりさくらばポーズ考える
背のびしても力不足を思い知る
さあさあと腰があらぬ朝のお茶
雨もよく降るがわたしもよく眠る

弁財天町 都倉 昭蔵

上杉本洛中洛外図屏風
その景観年代はいつ!?
修徳地名研究会では、信長が謙信に贈ったといわれる美しい「上杉本洛中洛外図屏風」のカラーコピーを見ながら、何時代に誰が描いたのか、描かれていた武家の邸宅がいつのものか探索中です。美しい屏風絵が豊かな気分させてくれ、畠山邸の跡は「畠山町」と、町名の由来などもわかります。開催日時は、毎月第3月曜日午後7時30分です。新たなご参加をお待ちしています。

現在の会員 (50音順敬称略)
間場美栄子 数井 靖子 北川 親枝 久城 正

お詫び
紙数に限りがあるため、一部投稿を掲載見合せ、または次号へ掲載延期とさせて頂きました。

お詫び申し上げます。また、紙面構成の都合により、記事の割愛、見出しの縮小整理等をさせて頂きました。何とぞ、ご了承くださいます。

編集部 浅野 三朗

小塩 史子 小西 宏之
小林 叡功 佐々木 邦弘
高橋 政子 都倉 昭蔵
内藤 友子 宮川 博子
修徳地名研究会 小西 宏之

洛央小学校新入児童へ 「校章入り交通安全黄色い傘」を贈呈 黄色い傘で雨の日安全

修徳交通対策協議会 会長 村山正治



平成27年4月8日(水)京都市立洛央小学校の入学式にて、修徳交通対策協議会を含む洛央小学校区の7学区交通対策協議会(格致・成徳・豊園・開智・永松・有隣・修徳)から、新入学児童96名に「校章入りの交通安全黄色い傘」をプレゼントいたしました。これは、「子供たちの夢が大きく明るく育つよう、雨の日でも安全に通学できるように」との思いを込めて、黄色い傘を贈ったものです。

洛央小学校の周辺部では、車の通行量が非常に多く、また通学路は歩道が狭いため、雨天時にドライバーに注意を喚起するために7学区交通対策協議会が初めて贈りました。これまでは7学区の交通対策協議会が個々に取り組んでは来ましたが、この度、修徳交通対策協議会の呼びかけに7学区交通対策協議会全会の賛同を得、また下京交通安全協会の賛助のもと、洛央小学校新入児童全員に黄色い傘をプレゼントいたしました。

傘を手にした新入児童の一人は、「この傘を大事に使い、雨の日もみんなと同じ傘を使って楽しく学校に通いたい」とも話してくれました。私たち修徳交通対策協議会はこれからも、「子供たちが安心・安全に通学できるよう地域が一体となって見守り、校章入りの黄色い傘をみつけたら、車等に気をつけるよう呼びかけてほしい」と願っております。



プレゼントされた傘をさす新入生



村山会長から森江里子校長へ目録贈呈

平成27年4月9日(木)京都新聞朝刊 市民版、5月15日(金)下京区民新聞「下京のひびき」にも記事と写真が掲載されました。

修和会 琳派の旅

五月というのに連日続く真夏日、この日も汗ばむ快晴の5月28日(木)修和会は鷹ヶ峰へ日帰り旅行をしました。午前10時20分「然林房」からの送迎バス2台に分乗して五条室町を出発。冷房の効いた車内は快適。道路も渋滞なくも千本北大路、御土居街道をのほります。この道もいつの間にか開発の波が押し寄せ、来るたびに新しいマンションが目につきます。ところどころ昔の面影を残す旧家もあることはあるが徐々に減ってきたように思えます。それでも光悦町に出れば依然どおりの静かな雰囲気。五月といふのに連日続く真夏日、この日も汗ばむ快晴の5月28日(木)修和会は鷹ヶ峰へ日帰り旅行をしました。午前10時20分「然林房」からの送迎バス2台に分乗して五条室町を出発。冷房の効いた車内は快適。道路も渋滞なくも千本北大路、御土居街道をのほります。この道もいつの間にか開発の波が押し寄せ、来るたびに新しいマンションが目につきます。ところどころ昔の面影を残す旧家もあることはあるが徐々に減ってきたように思えます。それでも光悦町に出れば依然どおりの静かな雰囲気。

本阿弥庵まで行くと目の前に鷲ヶ峰、鷹ヶ峰の新緑が迫り遙か前方を見下ろせば京都市内が木の間に見え隠れする、心をすっかり洗われて引き返せば秋桜子の句碑に出逢い、その背中合わせに横文字の句碑(?)を見つけて少々驚きました。光悦が家康から「鷹ヶ峰」の土地を拝領して丁度四〇〇年の節目にあたる今年に修和会が訪れたのなにかの縁かも知れません。静かな緑の文化に堪能してすぐ近くの「然林房」へ急ぐ。お楽しみのご馳走が待っています。二階の大広間「鷹ヶ峰の間」へ通されて早速準備されたお膳の前へ。山海



更生保護女性会総会

5月27日(水)下京北地区更生保護女性会の総会が、今年はホテル日航プリンセス京都3階ロビーの間にて開かれました。修徳学区からは、6名の方が参加下さいました。10時30分より皇后宮御歌のあと、西村会長の挨拶から、27年度の総会が始まりました。事業報告、決算報告、監査報告、27年度の行事予定、予算審議などが行われました。今年には京都府更女結成50周年にあたりまして、行事が増えています。毎年10月にありましたチャリティコンサートは9月15日になり、谷村新司さんと決まりました。ひきつづき講演会にう

つり、「京都ダルク」の太田実男様の薬物体験談をお聞きしました。友達からすすめられ、つい興味本位で手を出してしまつたこと、止めようとしてもなかなか止められなかったことなど、薬物乱用の怖さを教えられました。薬物には初めから手を出さない、防止こそが大切と教わりました。この後懇親会にうつりお食事の時間。手作り作品の販売もありました。こうした活動ができるのも皆様のご支援のおかげです。心より御礼申し上げます。これからもよろしくお願いたします。更生保護女性会会長 川成由美子

町内通信

◆弁財天町に愛◆ もしかしたら弁財天町に殺人事件が起きるかも先日うちのポストにこんなチラシが入っていました。 「お町内の『ブリーク』様の店内で撮影をさせていただきます。ご近隣にお住いの皆様には機材や車両、関係者の往来、発電機、及び劇用車などになにかとお騒がせするかと存じますがなにとぞご理解、ご協力のほどをよろしくお願いたします。日時5月12日 17時〜21時ごろ、店内で登場人物の会話そのほかの

◆敷下町通信◆ ◆伏見稲荷御旅所参拝◆ 4月29日昭和の日、10名で町内の安全と繁栄を祈願してご祈禱をしていただきました。その後、新都ホテルで美味しいお茶をいただき談話をしました。 ◆道祖神社大祭◆ 5月23日(土)道祖神社春の大祭が執り行われました。敷下町、富永町、その他の町からもたくさんの方がお参りに来られました。 ◆大江町成年会◆ 5月24日(日)好天の下、京都御苑内を散策ハイキングしました。 ◆「厳島神社」◆ 維新の引越で残された唯一の公家屋敷です。本御殿や長屋門、馬小屋などがあります。京都御苑の歴史や自然の資料が展示されています。

◆「厳島神社」◆ 安芸の厳島神社を勧請、宗像三女神



人事往来 (敬称略) 表彰 おめでとう4月 京都市市民憲章推進者 中村 正和(大江) 誕生 おめでとう4月 川島幹也(長女) 櫻子ちゃん(高砂) 結婚 お幸せに4月 下田 雅子(材木) 修徳公園の桜も祝福

転入 よろしく3月 高橋 潤次・文代 空矢・美空(敷下) 辰巳金一方 篠崎 之貴 朋子(深草) 転出 お元気で3月 小林 建次(月見) 計報 お悔やみ 平成27年3月11日 木下 禮子(坂東屋) 享年88 平成27年3月12日 吉田美智子(御供石) 平成27年4月4日 川村 庄治(布屋) 享年82 平成27年4月20日 西村 俊一(中野之) 享年84

◆修徳防災減災講演会◆
**“もう一度、命と生活を守る
 防災の基礎を確認する”**
 阪神淡路大震災から20年

4月1日(水) 修徳自治連合会主催で行われました、京都大学防災研究所社会防災研究部門 牧 紀男教授の講演の要約です。

京都では津波は起こらない。降雨による水害は起こるが、避難には時間の余裕が有る。地震は予知が出来ない。

阪神淡路大震災の状態を改めて検証する。地震発生後24時間以内に死亡(直接死:倒壊建物の下敷きによる)は5500人。その他の死亡(関連死:病院や避難所で)は900人。関連死は災害発生後の対応による。死亡は倒壊建物の下敷き(写真参照)による窒息や火災による。家具の転倒によるのは少ない。2階建の家の全壊では1階の人は死亡し2階の人は助かっている。耐震基準が厳しくなった1986年以降に建てられたマンション住人は助かっている。

自助:共助:公助の割合は7:2:1でほとんどが自分と近所の人の手助けによる。消防や自衛隊の助け(公助)は大規模災害では頼りきれない。近所の人たちとの助け合い(自助、共助)が重要である。

被災者はテレビやラジオも無く、情報も入ってこない。コンビニや銀行ATMも動いていない。電気、水道、ガスも止まったまま。この生活に慣れるのに3日程かかる。被災社会に役に立つのは人間のつながりであり、助け合いが生まれ災害ユートピアができる。

電気、ガス、水道、交通も3か月ぐらいまでには復旧する。すると家に帰る人、仮設住宅に入る人、災害復興公営住宅が建ちそこに入る人等で災害ユートピアは無くなる。コミュニティを作ることは大変なことである。

5年目神戸市復興調査(図1参照)では左から順に大きい問題があったが、8年目調査(図2参照)では問題の状況が変わってきている。震災発生後各地で応急対策で、仮設物を使用して復旧を進めたが、本

格的なまちづくりは5年目頃から行われ出した。

震災が起こり家屋が倒壊すれば、避難所に行かなければ生活がつかない。避難所の運営は地域の住民の自主運営でなければうまく行かない。行政が介入するとダメである。観光客に対しては行政が対応してくれる。

避難所の業務時間系列

- ①初動期(地震発生当日)
 - 名簿の作成 運営共通ルールの徹底
- ②展開期(2日目~3週間程度)
 - 運営委員会の開設 運営業務
- ③安定期(3週間日以降)
- ④撤収期(ライフライン回復期)



避難所の初動期の業務

- ①施設内の安全確認
- ②避難所施設の解錠、開設
- ③放送設備の点検
- ④立ち入り禁止スペースの指定
- ⑤外部 本部への連絡
- ⑥避難所ルールの掲示
- ⑦避難者の受け入れ 名簿登録
- ⑧広報
- ⑨避難者の取りまとめ
- ⑩食料の管理 配給
- ⑪負傷者と遺体の対応

避難所に必要な班

- ①総務班 運営全般の取りまとめ 本部との連絡
- ②名簿班 避難者名簿の作成管理 各種情報の管理
- ③食糧班 避難所食糧の配給 不足食糧の要請
- ④物資班 避難所生活物資の配給 物資の要請
- ⑤救護班 負傷者の対応 災害要支援者の支援
- ⑥衛生班 避難所衛生環境の管理 子供への対応
- ⑦連絡広報班 避難者の呼出 情報管理提供
- ⑧その他 必要とする班



1995年以降地震が多く発生している。京都周辺には花折断層帯、琵琶湖西岸断層帯、京都西山断層帯、生駒断層帯が有る。花折断層帯は今後30年の間に地震の発生する可能性が高い。花折断層帯で地震が起こった場合、下京区内の木造、非木造家屋42000戸のうち22000戸が全半壊すると予想される。

命を守るためには、①2階で寝る ②家具を置かない ③最低限の家屋の耐震改修を行う。

以上のことを心懸けて欲しい。
 文章作成: 修徳自主防災会

高橋 卓也



写真 1階が倒壊し2階に押潰された

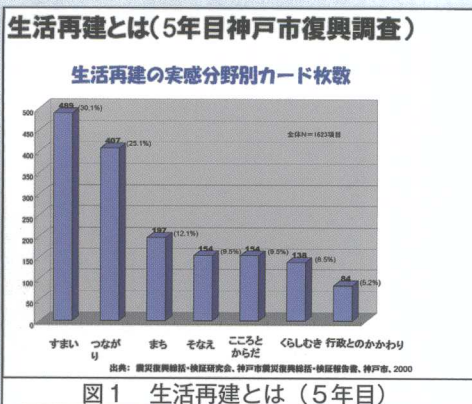


図1 生活再建とは(5年目)

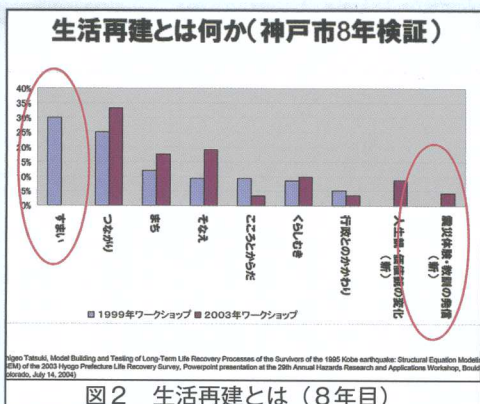


図2 生活再建とは(8年目)

修徳書道同好会
 一年間の締めくくりに作品展を3月20日(金) 修徳第二会議室で開きました。
 阪本こまの先生の熱心なご指導の下、力強い書清々しい書、墨痕鮮やかな作品が並んだことを誇らしく感じました。
 鑑賞しながら皆が持ち寄った茶菓で和やかな一時を過ごしました。
 書道同好会
 小塩 史子



「松原通の駅」イベントで町を活性化
 5月3日 松原通(油小路~東大路間)
 松原通界隈活性化活動プロジェクト委員会は、松原通り沿いの住民や商店に呼びかけて、手作り市、金魚すくい、スタンプリリー、飲食模擬店などのイベント「松原通(みち)の駅」を開催した。
 修徳では同委員会の担当委員でもある田中直染料店(玉津島)の社屋ガレージが会場となった。森(御供石)、玉虫(吉水俊成)、両委員を中心に休憩用テーブル椅子やテントで会場を設営した。

また畳み敷きのステージも特設された。ステージではジャグリングショー、ギターの弾き語り、劇団員による絵本の読み聞かせなどで、子供も大人も盛り上がりを見せていた。
 (文中敬称略)
 PR情報委員会
 浅野 三朗

編集後記
 「今年は春が無かった」と人がいいます。そういえば桜は早く咲いたもののその後は冷たい雨の日が続いた。そ

うして雨が上がりれば、夏日の連続であったか。そんな4月、PR情報委員会委員長に就任した。身に余る大役ではあるが、前委員長の高橋さんが委員として残ってください。たし、花水副委員長や各町委員の皆さんがいてくださるので心強い。
 PR情報委員会の役目とは何か、学区民が必要としている情報は何か、そういった原点を忘れずに微力ながら仕事をしていこうと思う。
 浅野 三朗

